



平成 20 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ト ラ イ ア イ ズ
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 池 田 均
(コード 4840 大証ヘラクレス市場 G)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 赤 根 克 洋
電 話 0 3 (5 7 7 4) 9 6 5 1

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 12 月 期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日) の通期業績予想について、平成 19 年 8 月 13 日に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 12 月 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 19 年 1 月 1 日～平 成 19 年 12 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,397	21	168
今回修正予想(B)	1,161	△283	185
増減額(B-A)	△236	△304	17
増減率(B-A)/(A)	△16.9	—	10.1
(参考)前期実績	7,378	△1,374	△4,616

(参考)1株当たり予想当期純利益 109 円 94 銭

2. 平成 19 年 12 月 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 19 年 1 月 1 日～平 成 19 年 12 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	266	91	41
今回修正予想(B)	260	△56	240
増減額(B-A)	△6	△147	199
増減率(B-A)/(A)	△2.3	—	485.4
(参考)前期実績	247	△832	△4,758

(参考)1株当たり予想当期純利益 142 円 62 銭

(修正の理由)

1. 連結業績予想数値修正の理由

当連結会計年度の連結業績につきましては、当社の筆頭株主であった平成電電株式会社(現在破産手続き中)関連の詐欺事件や、同社匿名組合から当社が民事訴訟を受けたことが原因で、当社の風評に対してもその影響が少なからず及ぶこととなり、当社連結子会社において十分な営業活動を行うことができず、売上高が予想を大幅に下回りました。販売費及び一般管理費の削減にはかなりの部分で予想以上の実績を上げられ、また金融収益も堅調に推移したものの、売上減少を補うまでには至らず、経常損失となりました。しかしながら、当期純利益では、中間期までに計上していた事業譲渡益等に加え、平成電電破産管財

人との和解による貸倒引当金戻入益があり、185百万円の利益を計上することとなりました。今後も当社グループの目標であるボトムラインでの黒字を継続していけるよう、引き続き努力してまいります。

平成20年1月からは、既存のITソリューション事業に加え、もう一つの中核事業となることを期待している建設コンサルタント事業の株式会社アイ・エヌ・エーが当社グループの連結対象となります。同社とも効果的に連携効果を発揮し、当社グループとしての収益力向上を目指してまいります。

2. 個別業績予想数値修正の理由

当社連結子会社からの経営指導料等はほぼ予想通りの実績で推移しましたが、複数案件が集中したことによりM&A関連費用が下半期にまとまって計上されたことで、経常損益が圧迫されました。しかしながら、当期純損益では、順調な金融収益が寄与したこと、和解によって平成電産破産管財人との債権・債務認定に決着が付き貸倒引当金戻入益が計上されたこと、持分法適用関連会社株式の売却益を計上したこと等により、前回の予想数値を上回り、240百万円の当期純利益という結果になりました。

- (注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上